

## 解放ランプ付レールM70 (F) 説明書

Uncoupler Track with Light Pole M70(F)

このたびはトミックス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの取り扱い説明書をよくお読みのうえ、取り扱いには十分注意して楽しみください。

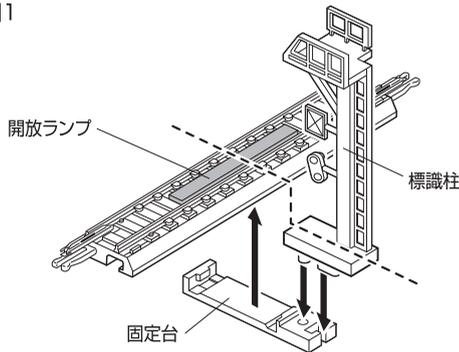
### 模型取り扱い上のお願ひ

- 1.レールの着脱は水平に行なってください。ひねったりしないようご注意ください。無理な角度での引き抜きや差し込みを繰り返しますと、ジョイナーなどレール先端をいためます。
- 2.運転する前にはレールが確実に接続されているか確認してください。もし、接続したレールどうしに段差がありますと車両が脱線するばかりか、レールを早くいためることとなります。
- 3.パワーユニットNから電気をレールに給電する場合は、専用のD.C.フィーダーNをご使用ください。
- 4.レールの通電機能を良好に保つために、こまめに、すべてのレールを、別売のトミックスレールクリーナーなどでみがいた後、乾布きしてください。特に油などを付けないようご注意ください。
- 5.道床(ベース部分)はABS樹脂製ですので、高温の場所(直射日光が当たる場所、暖房器具の近くなど)に放置しないでください。変形する可能性があります。また、シンナーなどの薬品にもご注意ください。

### 各部の名称と取り付け方

まずレール中央あたりの下に固定台を取り付け、次に標識柱を固定台に取り付けるようにします。

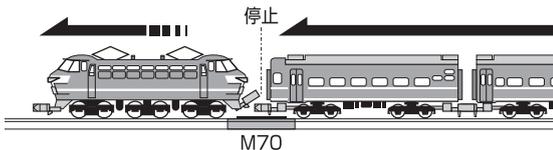
図1



### 自動開放の方法

Mカブラー付機関車と客車などを連結させます。標識柱の位置を目安にMカブラー付機関車を下の図2のように停止させます。Mカブラーの根元に付いた磁石が引っ張られ、カブラー頭部が上がります。そのまま機関車を移動させれば、車両どうしを切りはなすことができます。

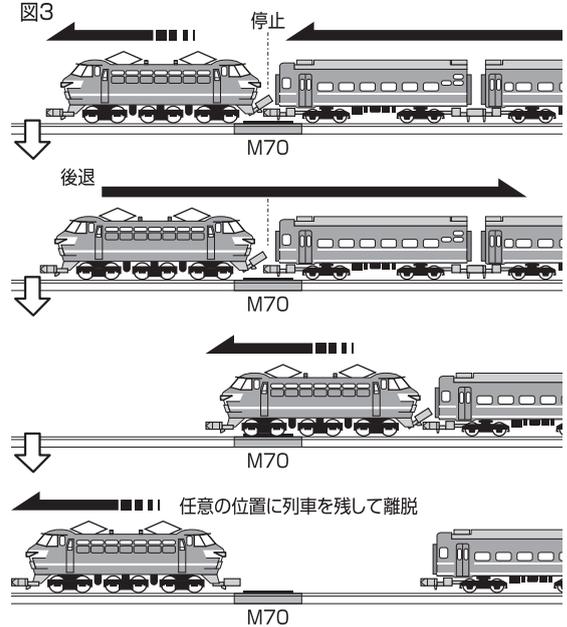
図2



### D.U.(ディレイド・アンカプリング)の方法

D.U.(ディレイド・アンカプリング)とは遅延(ちえん)開放と言い、実物の鉄道の入換作業での「突放(とっぽう)」のような動作を楽しむことができます。進行してきた列車の開放部が標識柱位置(開放ランプの上)に来るよう機関車を停止させます。そのまま少し機関車を前進させ、Mカブラー頭部を完全に上昇させます。次にこの状態のまま列車を押し退かせ、任意の場所で列車を残して離脱させます。

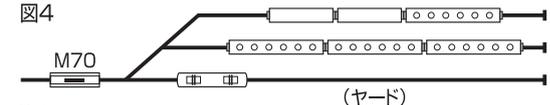
図3



### D.U.の応用例

本製品を、ヤードの根元部分に1箇所取り付けると、D.U.を応用した入換運転を行なうことができます。

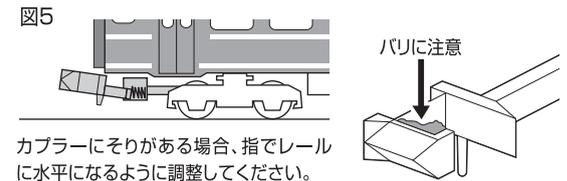
図4



ご注意:

- 本線上に本製品を取り付けますと、走行中にMカブラー付車両が解放してしまう場合がありますので、ご注意ください。
- 客車など相手側のカブラーの水平、バリ(まれにカブラーの角などに付いている余分なもの)などをチェックしてください。

図5



※イラストなどは製品と一部異なる場合があります。

修理が必要な場合、あるいは故障箇所が不明なときは、お買い上げ店にご相談ください。

また、トミーテックへお問い合わせの場合には、  
トミーテックお客様相談室 トミックス係

TEL : 03-3695-3161(代) までご連絡ください。

電話受付 月～金曜日(祝・休日除く) 10～17時

本製品のお客様サポートは日本国内でのご購入かつ日本国内からのお問い合わせに限りです。  
(Customer service is only available in case this product purchased in Japan and inquired from Japan domestic.)

**TOMYTEC** 発売元  
株式会社トミーテック

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

2025/11 更新版